

議会だより

2022年3月下旬発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



寿大通り線の現地調査を終えた後、森山裕氏(衆議院議員)を囲んでの記念スナップ



ラッパ水仙やチューリップなどの花の便りに心を弾ませる季節となりました。皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの流行から2年となり、行政当局や医療関係者並びに市民の皆様が感染拡大防止にご尽力していただいておりますことに対し感謝申し上げます。

鹿屋市においても感染者が2,500人を超える状況の中、若年層の感染者が多くなってきております。

仕事や生活に不安を感じている方も少なくないと思われます。「手洗い・消毒の励行・マスクの着用」「3密の回避」「不要不急の外出自粛」などの自衛策を引き続き講じながら感染リスク回避及び地域経済の活性化に努力して参りましょう。

1月末、国会議員 森山 裕 先生に「寿大通り線」の現地調査をしていただき、予算獲得・早期完成に向けての要望を行うと共に、建設促進協議会役員や地元町内会長、商工親睦会役員及び地権者の皆さんを交えて意見交換を行うなど有意義な時間を過ごしました。

後日、森山代議士より令和4年度の寿大通り線に1億2,100万円の予算が付いたと報告がなされ、関係者の皆さんは大変喜んでいました。

また、令和3年6月定例議会での私の質問に対して、**令和4年2月にカーボンニュートラル(脱炭素社会)実現に向けた「ゼロカーボンシティ宣言」が行われました。**

さて、鹿屋市議会3月議会は2月24日から3月23日まで開催されました。今議会に上程された議案と「**もっと元気な、もっと豊かな、もっと住みやすい“未来へ大きく羽ばたくまち!!かのや”の実現**」を「志を高く持ち、失敗を恐れず」何事にも積極的に挑戦していくと、中西市長は所信表明において力強く決意を述べました。

令和4年度鹿屋市一般会計当初・補正予算、鹿屋市再編交付金事業基金条例の一部改正、原口学副市長・大園純広・櫛下俊朗監査委員・田所由美子公平委員の選出など議案39件と陳情3件、意見書1件、決議1件、報告1件を慎重審議しました。

その結果、議案41件は可決、意見書1件、決議1件は採択、陳情1件は不採択、**東串良町選果場新築工事の助成と大園橋保存に係る陳情は継続審査**となりました。

今回の「議会だより」は、任期が終わることから最後となります。

私は、これまで「心(人のぬくもり)・環境(安全・安心)・未来(夢・希望)」を基本理念として、「鹿屋市の発展と市民の幸せを」第一義に取り組んで参りました。

特に、雨水排水対策、防犯灯のLED化、子育て支援、学校環境の整備、広域行政の推進、寿大通り線の建設促進、議会の活性化など積極果敢に取り組むと共に、皆様との情報共有化を図り、「**市民目線・現場主義**」で政策提言を行い、その成果は「議会だより」や「各種会合」などで報告して参りました。

今後、鹿屋市においても少子高齢化・人口減少や地方交付金の削減、扶助費の増加並びに公共施設の長寿命化計画、インフラ整備など厳しい財政状況が想定され、尚一層の行財政改革を推進して持続可能な財政運営を行う必要があります。

私は、年を重ねましたが、気力・体力の衰えを微塵も感じないことから「**鹿屋市発展と市民の健康・福祉向上に**」引き続き全力投球する覚悟を決めましたので、ご指導・ご支援をよろしく申し上げます。

一般質問には、代表(4会派)・個人(2名)が登壇し、多岐にわたり当局の見解を質しました。
我が会派、政経・未来(宮島・別府込・原田・伊野・田辺・梶原議員)は施政方針を中心に質問をしました。

政経・未来の代表質問項目

(1) 若者の定住促進について

- ① 工業団地及び進出企業の現状と課題について示されたい。
- ② 新たな工業団地の整備は、具体的にどのように取り組んでいくのか。
- ③ 企業誘致を進めるため、どのような戦略を持っているか。

(2) 防災・減災対策について

- ① 市民の防災意識の向上や避難所の機能強化の取組み及び災害時避難行動支援者対策について示されたい。
- ② 昨年設けられた鹿屋市届出避難所制度に基づく取組み状況と今後の取組みについて示されたい。
- ③ 自主防災組織の活動と地域防災リーダーの育成など活動の促進策について示されたい。
- ④ 浸水想定区域や土砂災害警戒区域の現状と防災対策の取組みについて示されたい。
- ⑤ 雨水流出抑制対策の取組み状況と今後の取組みについて示されたい。
- ⑥ 5号排水路沿線の災害対策の取組み状況と今後の取組みについて示されたい。

(3) GIGAスクール構想について

- ① ICTを活用した学びや不登校の子供などへの学習支援など期待が持たれる時代の趨勢から不可欠となった教育現場でのICT教育をどのように推進していくのか。
- ② 「GIGAスクール構想」を推進していく上で期待される一方、検討すべき課題も数多く残されていると思うが、どのような点に留意すべきか。

紙面の都合上、当局回答は掲載しておりません。詳しくは「会議録やホームページ」をご覧ください。

令和4年度一般会計当初予算の概要

骨格予算の編成 ……509億3千万円

- 人件費、扶助費、公債費などの義務的経費
- 安全・安心の確立、子供・子育て支援、福祉・医療の充実、商工業・農林水産業の振興、雇用、社会インフラの整備などのうち、継続事業や年度当初から着手することが必要な事業などを計上されております。

基本目標1 やってみたい仕事ができるまち ……19億7,170万円

- 活力ある農林水産業の振興
- 商工業の振興と雇用の促進

基本目標2 いつでも訪れやすいまち ……3億3,088万円

- 地域資源を生かした観光の推進
- スポーツによる交流の推進

基本目標3 子育てしやすいまち ……18億5,211万円

- 子育て支援の充実
- 未来につながる教育の充実

基本目標4 未来につながる住みよいまち ……28億8,418万円

- 快適な生活基盤づくりの推進
- 安全で安心な生活の実現
- 自然環境にやさしいまちづくりの推進

基本目標5 とともに支えあい、いきいきと暮らせるまち・10億5,764万円

- 地域福祉の充実
- 健康づくり・生きがいづくりの推進
- 共生協働・コミュニティ活動の推進

歳入・歳出の内訳

歳入科目	予算額	構成比
市税	10,619	20.9%
分担金・負担金	185	0.4%
使用料・手数料	741	1.4%
繰入金	3,743	7.3%
寄附金	2,200	4.3%
その他(財産収入、繰越金、借入金)	956	1.9%
自主財源	18,444	36.2%
地方交付税	12,700	25.0%
国・県支出金	14,739	28.9%
市債	1,494	2.9%
譲与税・交付金	3,553	7.0%
依存財源	32,486	63.8%
合計	50,930	100%

科目	予算額	構成比
議会費	283	0.6%
総務費	5,756	11.3%
民生費	22,229	43.6%
衛生費	2,847	5.6%
農林水産業費	3,075	6.0%
商工業	759	1.5%
土木費	2,352	4.6%
消防費	1,413	2.8%
教育費	4,212	8.3%
公債費	4,631	9.1%
諸支出金	2,829	5.6%
その他(災害対策費、臨時雇員費、委託料)	544	1.0%
合計	50,930	100%

科目	予算額	構成比
人件費	7,590	14.9%
扶助費	15,865	31.2%
公債費	4,631	9.1%
普通建設事業費	3,128	6.1%
物件費	7,340	14.4%
補助費等	4,519	8.9%
繰出金	4,712	9.3%
積立金	2,250	4.4%
その他(災害対策費、臨時雇員費、委託料)	895	1.7%
合計	50,930	100%